

行 政 報 告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、令和4年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、1億9,694万3千円の繰越しとなりました。

歳入は、令和5年度への繰越明許費分を除いた予算に対して788万3千円の減となりましたが、町税は予算に対し4,560万7千円の増となり、歳出は、繰越明許費分を除いた実質の不用額は1億7,424万5千円となっております。

後期高齢者医療特別会計は、75万3千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、国民健康保険事業費納付金などの減により、2,530万3千円の繰越しとなりました。

介護保険特別会計は、介護保険給付費などの減により、7,406万2千円の繰越しとなりました。介護保険給付費に係る交付金等は翌年度に精算されることから、精算額が確定しだい議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生などにより、1,621万9千円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度同量の18万9千立方メートルでしたが、原料費調整制度の調整上限額廃止等に伴いガス売上は124万円の増収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めて若干の改善はありましたが、原料費等が大幅増となったことから、1,939万5千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金 4 億 3, 4 9 6 万 3 千円に加えますと、当年度未処理欠損金は 4 億 5, 4 3 5 万 8 千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比 1 万立方メートル減の 5 6 万立方メートルとなり、給水収益は 1 3 3 万 6 千円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により 2, 0 0 8 万 9 千円の当年度純利益となっております。

病院事業会計は、前年度に比較し入院患者数は 3. 2 パーセントの減少となり、入院収益は 9 8 5 万 5 千円の減収となりました。外来患者数は 2. 7 パーセントの増加となり、外来収益は 1, 1 2 9 万 6 千円の増収となりました。

支出では、前年度に比べ医業費用が 2, 3 3 3 万 4 千円の増加、医業外費用は 2 4 万 5 千円の増加となっております。

事業収支では、一般会計から 3 億 8, 0 0 0 万円の補助金を繰入れたものの、3, 2 5 9 万 9 千円の当年度純損失となり、この当年度純損失を前年度繰越欠損金 5 億 2, 3 1 5 万 3 千円に加えますと、当年度未処理欠損金は 5 億 5, 5 7 5 万 2 千円となります。

なお、各会計の詳細につきましては決算上程の際に関係資料を提出いたします。

次に、水柱対策について申し上げます。

近隣にお住まいの方々への支援につきましては、道内外の企業や個人からいただいた寄附金をもとに、水柱の騒音等により精神的苦痛を生じた方に対する見舞金の支給、噴出水により住宅被害を受けた住宅所有者に対する修繕費用の一部補助を実施するため、関連する費用について補正予算を本定例会に提案いたしております。

R 5 号井対策工事につきましては、水柱噴出停止後の井戸調査等において地層の崩落・埋没が確認されており、水柱噴出の主な原因と考えられるガスの湧出深度、噴出停止要因、その他の影響等を解明するため、専門家の助言をいただきながら地域の安全に配慮しつつ、令和 6 年 3 月 13 日までの工期で施工中であります。

次に、「ゼロカーボンシティ長万部」宣言について申し上げます。

2020年10月、国は「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。

本町においても再生可能エネルギーの導入、脱炭素社会の推進のため、令和4年度には、役場庁舎及び学習文化センターに太陽光発電設備と蓄電池を設置し、さらに令和5年度中には、公用車として電気自動車を導入し、庁舎内地下駐車場に充電設備を設置予定であり、また、公共施設照明のLED化事業を実施するなど、脱炭素の推進を図っております。

今後は、地球温暖化の問題に地域レベルで貢献するため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ長万部」を宣言し、長期的な視点で取り組んでまいります。

次に、ふるさと納税について申し上げます。

長万部町まちづくり基金条例による、ふるさと納税の令和4年度の取組といたしまして、主要返礼品の掲載写真等の強化や新規返礼品の発掘、新規事業者の拡充などを図ったこともあり、令和4年度の寄附状況は、6,733件、1億1,298万円と過去最高を更新し、前年度と比較し、約6,000万円の増額となりました。

今後は、返礼品等のさらなる充実を図るとともに、町を応援してもらうための取組を強化しながら、ふるさと納税による寄附の拡大を目指してまいります。

さらに、令和4年度の企業版ふるさと納税につきましては、寄附事業プロジェクトに対し、15件、660万円の寄附実績となりました。

次に、JR中ノ沢駅の存廃について申し上げます。

JR北海道では、極端に利用の少ない駅の存廃などの見直しを進めておりますが、利用実態などからJR中ノ沢駅が該当しており、令和6年3月のダイヤ改正による廃止に向けた協議の申し入れがありました。

このことから、地域住民のみなさまと直接対話し、ご意見やご要望を把握するため、「JR中ノ沢駅の存廃に関する説明会」を地域で開催し、方向性を決定してまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では5つのトンネル工事が施工中で、5月1日現在において4箇所トンネルが掘削中であります。

立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち4,885メートルが、豊津工区では、本坑2,065メートルのうち1,662メートルが、豊野トンネル外1箇所では、豊野トンネルと幌内トンネルの本坑2,165メートルのうち豊野トンネルの掘削が完了し、5月16日に貫通式が執り行われたところであり、引き続き、幌内トンネルを掘削中であります。

また、内浦トンネルの静狩工区では、本坑5,570メートルのうち3,586メートルが掘削されております。

さらに、地上部の明かり区間につきましては、国縫高架橋、中ノ沢高架橋、平里高架橋、栄原高架橋、共立路盤、静狩路盤の各工事は既に発注済みであり、現場事務所や作業員宿舎、工事用道路の準備などが進められております。

次に、新幹線長万部駅前周辺整備について申し上げます。

町が委嘱した長万部高校生を中心とした駅デザイン検討委員会において、新幹線駅の高架下の利用方法について昨年からの検討を進めてまいりましたが、2月24日に学習文化センターで住民説明会を開催し、出席した約80名の方々に対して、高校生の委員4名から高架下滞留空間の基本構想について提言がありました。

町では、この提言を参考に滞留空間の広さや利用方法をまとめた基本計画を作成いたしましたので、今後、町広報や住民説明会などで説明し、より具体的な施設や設備の要望などについて住民意見を広く求めてまいります。

次に、町道本通線外の道道昇格について申し上げます。

町道本通線の一部などが道道長万部公園線の道路区域の変更により、4月4日付けで道道に昇格しました。

新たに道道となった区間は、町道本通線の一部で国道37号線交点から駅前まで、町道大町一号線の駅前から国道5号線、消防署前までであります。

町では、新幹線開業を見越した駅前周辺整備を見据えて、平成19年から毎年、北海道に道道昇格を要望してきたところであり、この度の昇格により北海道による東口駅前広場の整備と街路拡幅について、より現実的なものとなってきたところであります。今後、町では関連する都市計画決定や土地区画整理事業の準備や手続きを進めてまいります。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種事業について申し上げます。

65歳以上の高齢者、12歳から64歳までの基礎疾患を有する方、医療従事者及び高齢者施設の従事者等を対象とした令和5年春開始接種は、5月に町内の高齢者施設等4施設において入所者及び職員の接種を完了しており、現在は、福祉センターを会場とした集団接種を6月中旬完了予定で実施しております。

次に、老人福祉関係について申し上げます。

80歳以上の高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中で、タクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、4月5日から役場窓口で、11日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付を行いました。5月末までの対象件数は768件で、交付件数は680件、約89パーセントの交付率であります。

60歳以上の高齢者を対象とした町内温泉施設の入浴料金助成事業は、タクシーチケットの交付日と同日の4月5日から受付を開始しており、5月末までの対象件数は2,537件で、交付件数は925件、約36パーセントの交付率であります。

次に、児童福祉関係について申し上げます。

4月1日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、定員60名に対し27名の入所となっております。

一時保育事業の4月の利用はなく、小学校低学年児童受入事業の利用は、1・2年生が4名で延べ26日間、保育所に併設している地域子育て支援センターは、延べ46組で106名の親子の利用となっております。

放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学1年生1名、2年生1名、3年生2名、4年生2名、5年生3名の計9名の入所となっております。

認定こども園である「長万部マリア幼稚園」の今年度の入園児童数は、利用定員60名に対し40名の入園となっております。

また、4月から認可保育所に移行した「いずみ保育園」の今年度の入園児童数は、利用定員42名に対し14名の入園となっております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

令和4年度の本町のゴミ収集総量は、1,885トンで、前年度と比較して32トンの減となっております。

渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、1,547トンで、前年度と比較し39トンほど減少いたしました。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類につきましては各地域等へ年2回の巡回無料回収と役場内担当窓口での随時無料回収を行っております。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

次に、低所得世帯支援給付事業について申し上げます。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯に対し、低所得世帯支援給付金を給付することになりました。

令和5年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯に対し、1世帯あたり3万円が支給されますので、関連する費用について補正予算を本定例会に提案しており、速やかに支給できるよう準備を進めております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物である牧草につきましては、昨年より10日あまり雪解けも早く、4月及び5月の平均気温も例年に比べて高く推移し、5月24日現在の作況状況では、適度な降雨と気温により生育は順調に進んでおります。また、サイレージ用とうもろこしについても播種作業が平年より早めに進んでおります。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、入牧予定牛の事前検査やワクチン投与等を行い、牧場内での牛ウイルス性下痢等感染防止に努めております。

入牧状況は、町内酪農家の飼育牛は4月28日に共立牧場へ210頭、5月8日に蕨岱牧場へ122頭を入牧いたしました。共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受け入れ、5月12日に108頭の入牧が終了し、合計440頭が入牧しております。

また、公共牧場及び個別経営体において、植生改善による良質な自給飼料生産や暗渠排水整備等による機能向上のため、道営草地整備事業の測量設計を予定しております。なお、着工は令和6年度になります。

生乳生産量は、1月から4月までで3,034トン、乳代は2億8,318万円となり、前年に比較し、生乳生産量は25トンの減となりましたが、乳代では798万円の増となっております。

黒毛和牛の1月から4月までの販売頭数は61頭、販売金額は4,013万円となり、前年に比較し、販売頭数で9頭の増となり、販売金額でも61万円の増となっております。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

有害鳥獣駆除対策は、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。

ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカ、特定外来生物であるアライグマなどが林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律等に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

基幹産業であるホタテ貝養殖漁業は、令和4年度の生産量は約15,706トンとなり、前年度に比較し903トンの減となりましたが、生産額では55億8,376万円となり、前年度と比較し7億9,254万円の増となっております。この要因として海外輸出が好調でホタテ貝単価が上昇したためと考えられます。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年3月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約99パーセントとなり、例年と比較して良好な生育状況となっております。

次に、商工観光労政関係について申し上げます。

中小企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症による影響から立ち直りつつあるものの、国際情勢の変化や物価高騰により、厳しい状況が続いており、今後の経営不安の解消と事業経営の安定化を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携して実施しているほか、さらなる支援方策として昨年度に引き続き、商工事業者経営改善等支援事業を実施するため、関連する費用について補正予算を本定例会に提案いたしております。

観光振興では、引き続き長万部町、豊浦町、黒松内町の3町連携による「はしっこ同盟」による広域連携事業を中心とした活動・取組も一層強化してまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置している観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、

積極的な観光客の誘致に努めております。さらに、町を訪れる多くの観光客のみなさまへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。今後、さらなる事業の展開・拡大・充実が期待されます。

なお、本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、新型コロナウイルス感染症の法律的な取り扱いが変更になったため、温泉利用組合と連携し、受入の調整を行っていきたいと考えております。

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、各公共施設や町営住宅の修繕工事について、計画的に実施しております。

土木事業では、カマツオナイ橋修繕工事を7月31日までの工期で発注しております。

道路維持関係では、町道浅見線災害復旧工事を8月31日までの工期で、町道中山大通線外舗装補修工事を11月17日までの工期で発注しております。その他、町道及び河川の維持補修等につきましては、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園パークゴルフ場は4月14日に、長万部公園キャンプ場は4月21日にオープンしたところであります。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

下水道ストックマネジメント計画に基づく公共下水道根幹的施設の建設工事は、昨年度より引き続き日本下水道事業団へ2カ年工事を委託しており、令和6年3月29日までの工期で施工中であります。

次に、病院事業について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、令和5年5月8日から感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりましたが、患者間の接触を避けるため、発熱外来を継続して開設しております。

町民のみなさまには感染拡大防止のための措置とご理解をいただき、町広報等を確認のうえ受診いただきますようご協力をお願いいたします。

次に、教育関係について申し上げます。

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者17名から申請があり、90万5,560円を4月25日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。また、長万部高等学校通学費補助は、国縫、中ノ沢、黒松内町、八雲町及び森町の通学者19名から申請があり、171万520円の支給を予定しております。

国公立大学及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生3名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し奨学金の決定をしております。

次に、消防関係について申し上げます。

今年5月末現在の火災件数は1件で、豊野牧草地で枯れ草火災が発生しております。

救急件数は142件で、急病が63件、交通事故が10件、一般負傷が18件、その他転院搬送などが46件で、ドクターヘリによる搬送は5件となっております。

火災予防につきましては、春の全道火災予防運動期間中、署員による防火広報、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察を実施いたしました。

消防団の状況につきましては、3月31日付けで団員4名が退団、4月1日付けで1名が入団し、現在の団員数は、基本団員が103名、女性団員が13名、機能別団員が20名で、現在136名となっております。

また、災害対応特殊救急自動車購入の入札を5月25日に行いましたので、地方自治法の規定に基づき、本定例会に財産の取得について提案いたしております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定や一部改正、財産の取得、一般会計補正予算など18件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。